

どーらく 改題 逆説土楽たより

断捨離考

10月号(NO13)通巻 163号

2019年10月10日(木)発行(毎月10日)

【農暦】草の繁茂で荒れた畑を少しずつ修復していきたい!

○暑さ寒さも彼岸までと言われるが10月になっても夏日が続く。地球温暖化は確実に進んでいると実感させられる。台風も大型化している。海水温で台風のエネルギーは決まるといふ。台風による災害は大きくなるばかりである。千葉の台風による停電の広域、長期化は過酷な生活を強いられているのだと想像される。明日は我が身にもと思ってしまう。

○温暖化対策の取り組みが最下位のサウジアラビアの次に悪いと聞くと国連での日本の環境大臣の発言は脳天気と言わざるを得ない。16歳少女(トゥーンベリ)が国連で「あなた方は、私の夢や私の子供時代を、空っぽな言葉で奪った」と涙で訴えた。余りにも無神経である。朝日川柳(28日)に「剥げかけたメッキ気にして帰国する(進次郎氏)」とあったが、恥ずかしい。一強政権で質の悪い政治家が目立つ。16歳の少女の訴えに真摯に応じて欲しいと思う。氷河喪失、海面上昇などゴア元アメリカ副大統領が訴えた、“不都合な真実”は更に確実に進んでいる。

○台風それに暑さが続くが、お彼岸からは農作業を頑張ろうと思った。そんな時に痛風が発症してしまった。出鼻を挫かれた。お彼岸前の一週間が潰れた。予定はキャンセルしたが、知人の告別式には車に乗せて貰うしかなかった。塞翁が馬というが、いろいろなことが起こる。体力気力の衰えた身に戸惑いが多い。

○こんなことで畑は遅れるばかりである。頑張っていない畑では品質も悪く量も少ないがトマト、茄子、みどり茄子、ピーマン、唐辛子などを収穫している。ご近所さんに時々お裾分けしている。一般的でない、みどり茄子は好評である。作付は少ないが、小豆、黒豆もそろそろ収穫期になる。草の繁茂で荒れた畑を少しずつ修復していきたい。玉葱も少し植えたい。冬に向かって少しでも良い状態にしたいと思う(了)

【楽農】<畑>大根の間引き、白菜の補植。トマト、茄子、ピーマン、ネギなどと柿を少量収穫

*草刈り、小木の枝刈り。天気と相性悪く進捗僅か。

【楽市】イベント交流・直売など。

○イベントなど;笠吟連会長会(18日)男女共同牛久市意見交換会(24日)男女共同審議会(28日)、詩吟例会(12・26日)共生の会(3日)、川柳の会(3日)に参加など。

*15日に痛風発症ほぼ1週間で治癒、



<トマト、茄子、ピーマン>異常気象で?品質、収量悪い。5日撮影



<秋の手賀沼>久振りのウオーク。7日撮影

【つぶやき=Tweet】私の中で茨城の魅力度が上がっていた！

○県魅力度ランキングで6年連続最下位の茨城が違ったものに見えて来た。4日の朝日に「自民は権威主義化、自浄能力は絶望的、強い野党育てねば」の見出しの一面記事があった。茨城7区選出の衆議院議員中村喜四郎氏のものである。8月の埼玉県知事選で野党当選にはこの人の存在があったという。石破元自民幹事長の韓国問題での発言はまともなものがあると思ったこと。茨城自民党は総裁選で石破氏への投票が多数を占め、石破派国会議員もいることもある。小泉政権以来、保守の良質の政治家（刺客？などで）が少なくなってしまう。そんな状況にあって、茨城の政治家の存在は、私の中で茨城の魅力度が上がっていた。

○8日朝のテレビでテコンドー協会のことをやっていた。金原独裁体制？のことである。独裁が付度を呼び、付度が独裁を作る。安倍一強の政治体制のミニ版を見る思いがした。日大アメフト以来？多発する問題の体質（付度）が日本の社会のあっちこっちで若者を蝕んでいるとしたら寂しい。いつからこうなつたのか。自浄能力？で、大人の責任は重い。ラグビーW杯の熱戦に水を差されたように感じた。

○断捨離についてネットで見っていたら、いろいろな言葉に出会った。断捨離は単に物を如何に片付けるか、ではないと云う。生活改善、人生観、ジェンダーなどの価値観を変えることで、人生を楽しく豊かにするものだと、説かれていた。大前研一さんの名言として“人間が変わる方法は3つしかない。① 時間配分を変える② 住む場所を変える③ 付き合う人を変える。この3つの順番でしか、人は変わらない。最も無意味なのは、決意を新たにすること”とある。断捨離の範疇を超えていると思った。“決意を新たに”は無意味とはわかる様な気がする。断捨離は価値観の変更なしでは達成できないと理解した。

○こんな事も書いてあった。人生のステージ（魂レベル）は大まかに分けると4つに分類される。【使命】：世の中のため、「私はこのために生まれてきたんだ！」（存在意義）

【貢献】：人に喜んでもらえることが喜び、相手のために（利他）【願望】：「やりたいことをやろうとしている」状態、まず自分を幸せに（利己）【欲望】：目的のない人生、批判陰口、他力本願、タダでもらうことを考える。下位のステージほど、「欲しがる」割合が多い。上位のステージほど、「与える」割合が多い。そして、このステージ理論は、高いステージの人は、「高い低いがわかる」低いステージの人には、「高い低いもわからない」だそうだ。と最早、人生哲学である（了）

○断捨離考：庭の片付けだけ。“価値観を変え”で頑張りたい。

【後記】実り秋本番！ Kogure 農場に。

【特に編集せずランダム構成】



＜柿と白茄子＞台風で傷が多い。1日撮影

発行者；小暮虎雄

住所；笠間市本戸4201-10

携帯電話；090-9333-4135

HP；kogure農場

メール；torao-k@nifty.com